

令和4年度地域中小企業データ活用BootTest事業データ活用事例①

- 顧客のLTV（顧客生涯価値）を高めるために、ECサイトの顧客・注文データの分析を行い、ターゲットに合わせた施策を考案。

株式会社花助（群馬県・小売業・従業員8名）

- ・ 全国の花屋を厳選・ネットワーク化し、ECサイトで花の注文を受付。全国の花屋を通じて主に法人向けに販売。
- ・ 花贈りをトータルサポートするフラワーコンシェルジュサービスを提供。

課題

- ・ 一回のみの利用顧客が大半を占める
- ・ システムに蓄積された顧客・注文データを、施策検討の際に活用できていない
- ・ データ分析する際に、Excel間の転記作業等があり、負担が大きく継続的に実施できていない
- ・ 実施した施策の効果測定ができる体制になっていない

取組

【活用データ】

- ・ 受発注データ
- ・ 顧客データ
- ・ ECサイトの手数料
- ・ 利益率 等



- ・ データを直接、BIツールに取り込み、「ダッシュボード」を作成し、顧客・注文データが自動で更新・出力され、設定したKPIを管理できる仕組みを構築
- ・ 作成したダッシュボードをもとにデータ分析を行い、顧客のLTVを高める施策を検討

成果

- ・ データ分析により、購入用途別の特性（リピート率、購入単価等）を把握
- ・ 用途別の特性を踏まえ、法事等のイベントに合わせたリマインドメールの送付や商品ごとの特徴強化、価格設定の見直し等の施策を考案



令和4年度地域中小企業データ活用BootTest事業データ活用事例②

- 治具の準備や梱包箱の片付け等の付帯作業に着目。付帯作業の内容・時間のデータを取得・分析及び付帯作業の専任化による仮説検証により、生産性向上を図る。

株式会社丸真製作所（長野県・製造業・従業員95名）

- ・ 金属熱処理・表面処理のメーカーであり、各種熱処理、表面処理、機械加工と幅広く実施。
- ・ 絶えず熱処理技術の研究開発と品質の安定に力を入れ、ユーザーの要望に応えるべく限らない挑戦を続ける。

課題

- ・ 作業者の能力・スキルに依存した改善をしているが、**生産効率が思うように向上しない**

仮説

付帯作業が段取り作業効率に影響を及ぼしている可能性あり

【想定される付帯作業】

- ・ ムリ：倉庫から熱処理設備までの**運搬作業**がキツイ
- ・ ムダ：**治具を探す手間**
- ・ ムラ：治具が定位置にない、代用できる治具が判断できない

取組

【活用データ】

- ・ 段取り作業時間データ
- ・ 付帯作業時間データ（新規に取得）



- ・ **付帯作業の内容及び所要時間等のデータベース化**
- ・ 仮説に基づき、**付帯作業を専任化**し、段取り作業に集中できる環境を作り、段取り作業時間の変化等をデータ分析し、仮説を検証。

成果

- ・ **付帯作業が極めて非効率**であることが可視化でき、現場には沢山の改善余地があることを把握
- ・ 専任化による検証の結果、作業者の負荷軽減（**歩数8割削減**）し、**作業効率は3割向上**



工場内



製品

熱処理・表面処理・機械加工品